

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD14		
授業科目名	タイポグラフィ		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>広告代理店の制作部でグラフィックデザインを担当した教員がレタリング技能検定の指導する。また検定後は、文字のデザインの基礎からロゴタイプのデザインのバリエーション展開の実習を行う。</p>
到達目標	<p>レタリング検定の取得を目指し、文字デザインの知識、文字表現の技術を習得する。欧文、和文の知識とデザイン力を養い、ロゴタイプのデザインの幅を身につけ、媒体・用途に適した文字のデザイン力を習得する。</p>
授業計画	<p>第1-7回 レタリング過去問題実践（知識、用具、技術の理解）</p> <p>第8-9回 ロゴタイプ欧文実技（欧文書体の理解）</p> <p>第10-12回 ロゴタイプ和文実技（和文書体の理解）</p> <p>第13-14回 フォントを理解するロゴタイプの実技</p> <p>第15-16回 タイプフェイスを理解するロゴタイプの制作</p> <p>第17-18回 デザインの型を理解するロゴタイプの制作</p> <p>第19-20回 ビジュアル化を理解するロゴタイプの制作</p> <p>第21-24回 文字によるメインビジュアル制作（文字のビジュアル化を習得）</p>
教科書	書体サンプル集（国際文化カレッジ）
成績評価方法	各課題における作品評価点70%（レタリング検定の可否結果も評価に含む）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD21		
授業科目名	広告デザイン I		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	デザイナーとして広告デザインや各種企画書などの制作実績を有した教員が、広告デザインの媒体別基礎知識と企画書の作成とともに市場調査分析やポジショニング、ターゲットの設定などに基づくコンセプトメイキングから、カンプの表現手法までを指導する。
到達目標	1) 広告の基礎用語、基礎知識を学習し、企業・商品、社会背景、流行などの情報収集と分析、ターゲット設定、コンセプトメイキングを行い基礎的な企画書の作成法を修得する。2) 広告の媒体の特徴を理解しコンセプトに基づいたビジュアル表現手法を修得する。
授業計画	<p>第1-2回 広告の種類と色彩について                      広告媒体の種類と特性を知り、広告作成に必要な色の基本知識を学ぶとともに、コーポレートカラーなどを通してCIについても学習する。</p> <p>第3-5回 新聞広告全7段/企画書作成                      企業、商品、市場、社会の情報収集と分析結果からターゲットの設定とコンセプトを導き出し、考察する力を身につける。</p> <p>第6-7回 新聞広告全7段/アイデア出し                      コンセプトに基づいて柔軟なアイデアの発想ができる力を養う。</p> <p>第8-9回 新聞広告全7段/原寸ラフスケッチ                      原寸サイズでレイアウトを行い、余白の使い方や全体のバランスを考える技術を修得する。</p> <p>第10-12回 新聞広告全7段/カンプ制作                      ラフスケッチに基づき、イメージを具体化させカンプ制作の基礎技術を身につける。</p> <p>第13-14回 新聞広告全7段/プレゼンテーション                      プレゼンテーションの技術を身につけ、互いに作品を評価をすることで第三者としての視点を意識する。</p> <p>第15-16回 ACジャパン学生広告賞/企画書作成                      与えられたテーマについてより深く考察し、多様な視点で物事を捉える力を身につける。</p> <p>第17-19回 ACジャパン学生広告賞/アイデア出し・ラフスケッチ                      意見広告として主題に基づいた発想ができるよう、表現手法を考察し身につける。</p> <p>第20-22回 ACジャパン学生広告賞/カンプ制作                      制作を通して自己のイメージを具現化する力を養う。</p> <p>第23-24回 ACジャパン学生広告賞/プレゼンテーション                      プレゼンテーションを通し自分の考えを客観的に捉え、第三者に伝える力を身につける。他者の作品を鑑賞することで、多角的な視点を身につける。</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（35%）、練習課題点（30%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（35%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD25		
授業科目名	DTP基礎		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>広告代理店の制作室でグラフィックソフトを使用し制作してきた教員が、マッキントッシュを使用しIllustratorとPhotoshopのアプリケーションソフトの基本操作法を印刷物制作課題の制作を通して指導する。</p>
到達目標	<p>PCを使用した印刷物制作を通じて、IllustratorとPhotoshopのアプリケーションの基本操作と2つのソフトの相互の関係を理解し操作に関する基本技術を修得する。文字や画像の画面構成や配色、画像加工・補正の操作技能を理解して適切なビジュアル表現を身につける。</p>
授業計画	<p>第1回 アプリケーションソフトの主要ツール IllustratorとPhotoshopの主要ツールを学び、ベクタ形式とラスタ形式の描画の違いを理解する。</p> <p>第2～3回 基本操作 Illustratorでの選択、図形の描画、変形等の基本操作を身につける。</p> <p>第4回 ペンツール Illustratorでのベジェ曲線生成やハンドル操作、塗りと線のカラー設定を身につける。</p> <p>第5～6回 平面構成1 印刷物の制作工程を知り、フォーマット作成、文字入力・設定、図形作成、ファイル管理の操作法を身につける。</p> <p>第7回 ロゴ・地図の作成 Illustratorでの塗りや線の設定を活かした図形作成方法を身につける。またレイヤー分けの利点を理解する。</p> <p>第8回 図形作成、文字設定の応用 Illustratorでのパスファインダーによる効率のよい図形作成方法や字詰めや文字組みの設定方法を身につける。</p> <p>第9回 画像の加工 Photoshopを使った画像変換方法を理解し、Illustratorでの画像の配置、マスクや切り抜きを修得する。</p> <p>第10～11回 平面構成2 図形、画像、文字の素材をレイアウトし、基本的な印刷物の作成方法を修得する。</p> <p>第12回 画像処理基礎 Photoshopの主要ツールを学習し、選択・切り抜き・合成等の変形や、描画モードによる画像加工の操作法を身につける。</p> <p>第13～14回 平面構成3 図形、画像、文字を用いた平面構成を通じてIllustratorとPhotoshopの操作法を反復で学習する。</p> <p>第15回 画像合成・加工 Photoshopでの合成や加工の画像処理で、新しい素材を作り出す技術を修得する。</p> <p>第16回 画像補正・解像度 Photoshopでの色調補正や解像度が、見え方や画質に影響することを理解する。</p> <p>第17～19回 コラージュ制作 各自で画像素材を準備しPhotoshopでの画像合成に取り組む。時間配分と完成度向上の必要性を理解する。</p> <p>第20～22回 誌面構成1 誌面の構成要素やレイアウト上のルール・留意点を学ぶ。調整による印象や精度の違いを把握し、仕上げ工程の重要性を理解する。</p> <p>第23～24回 応用操作 Illustratorのブレンドやグラデーション、Photoshopのフィルタやレイヤースタイル等の応用操作法を学習する。</p>
教科書	<p>担当教員において配布資料作成</p>
成績評価方法	<p>課題における作品評価点(80%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する。</p>
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD33		
授業科目名	セールスプロモーションⅡ		
授業時間数	36		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>広告代理店においてクリエイティブディレクターとして広告の企画からマネージメントまでを担当した実務経験のある教員が、マーケティングからターゲットの分析、設定、チャート作成、企画書作成、プレゼンテーションまでの一連の流れを指導する。</p>
到達目標	<p>マーケティングの知識を学ぶと共に、その読み取りから分析力を養う。説得力のあるチャートの作成やプレゼンテーションテクニックを身に着けることで交渉力を養う。 現実を把握した効果的な販売促進計画とデザイン案の制作方法を習得する。</p>
授業計画	<p>第1回 マーケティングとSP、広告の違い、関連用語 基礎的な業界用語としてのマーケティング関連用語を理解し習熟度を深める。 第2回 SP計画の立て方／仮想雑貨店のSP／話題のSPを分析 雑貨店を仮想の店舗としてセールスプロモーションの計画を立てた時の状況を分析する。 第3回 プレゼンテーションとは／気になるSPの魅力をプレゼン 自ら企画したセールスプロモーションを学生間でその魅力をプレゼンテーションし伝える力を養う。 第4回 ターゲットから考えるSP／広告の企画書をコバにしてみよう 自らのセールスプロモーションをターゲット側から捉えることにより良い面と悪い面を文章化し確認する。 第5回 効果測定について／広告の企画書の文章を分析してみよう マーケティングの検証作業として必要な効果測定について理解を深める。 第6回 予算について／広告例からチャートを作ってみよう 具体的なチャートを使用しクライアントに対して予算計上の交渉する力を養う。 第7回 課題制作①商品の販売促進 表現制作および企画書の作成 課題の実制作の中で表現方法や企画書のポイントを学ぶ。 第8回 課題制作①プレゼンテーションと合評 課題の実制作の中で学内発表をすることでプレゼンテーション力を養う。 第9回 課題制作②店舗の販売促進 表現制作および企画書の作成 課題実制作の中で店舗における販売促進の表現方法や企画力の向上を目指す。 第10回 課題制作②No.プレゼンテーションと合評 プレゼンテーション技術の向上を目指す。 第11回 課題制作③サービスの販売促進 表現制作および企画書の作成 流通やサービスにおける販売促進の表現方法や企画力の向上を目指す。 第12回 課題制作③プレゼンテーションと合評 学習した内容を反復することで定着させ実社会で話題のセールスプロモーションを学ぶ。 第13回 課題制作④SNSでの販売促進表現制作および企画書の作成 SNS実社会でを通じた話題のセールスプロモーションを学ぶ。 第14回 課題制作④プレゼンテーションと合評 プレゼンテーション技術の向上を目指すと共にSNS媒体の広告効果について検証する。 第15-16回 課題制作⑤クライアントを想定した企画書の作成 これまでの演習で学んだことを活かし自ら企画を立案する提案力をつける。 第17回-18回 課題制作⑤デザイン案制作 第19回-20回 課題制作⑤プレゼンテーションと合評</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題におけるグループ毎のSP企画案評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD11		
授業科目名	セールスプロモーション I		
授業時間数	36		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>広告代理店においてクリエイティブディレクターとして広告の企画からマネジメントまでを担当した実務経験のある教員が指導にあたる。ケーススタディからマーケティングの基礎知識、販売促進の基本を学ぶ。</p>
到達目標	<p>マーケティングの基礎的な知識を習得し、その読み取りからクライアントのニーズを把握した効果的なセールスプロモーションプランとデザイン案を演習を、通じて立案しマーケティングと販売促進の関係と効果の理解を深める。</p>
授業計画	<p>第1回 マーケティングとSP、広告の違い、関連用語                  第2回 SP計画の立て方／仮想雑貨店のSP／話題のSPを分析                  第3回 プレゼンテーションとは／気になるSPの魅力をプレゼン                  第4回 ターゲットから考えるSP／広告の企画書をコトバにする課題演習                  第5回 効果測定について／広告の企画書の文章を分析する                  第6回 予算について／広告例からチャートを作成                  第7-8回 課題制作①表現制作および企画書の作成                  第9回 課題制作①プレゼンテーションと合評                  第10-11回 課題制作②表現制作および企画書の作成                  第12回 課題制作②プレゼンテーションと合評</p>
教科書	<p>担当教員において配布資料作成</p>
成績評価方法	<p>各課題におけるグループ毎のSP企画案評価点（70%）、授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。</p>
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD12		
授業科目名	アイデア発想基礎		
授業時間数	32		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>広告代理店で広告やCMのディレクションに携わった教員が発想を指導する。優れたデザイナーとは単にデザイン技術の優れた人ではない。デザイン以外の知識や経験を蓄えて柔軟な発想から作品を生み出す人である。授業を通じて「デザイン発想力の向上」「自分が進むべきデザインの方向性発見」のきっかけになるようなクリエイティブ作品やエピソードを各方面から多数紹介。また忘れてならないのはデザイン作品は絵画などと異なり受注作品であること。デザイナーの成功には注文主とのコミュニケーション能力、つまり言葉(説得力)が大きな比重を占めている。授業では様々なテーマの課題に対するプレゼンテーションを実施する。グラフィックデザイン科、メディア映像デザイン科というジャンルを超えた授業である。前期は広告(ポスターやCMなど)を中心に。中期は映像(映画やスチール写真)を中心に。後期は説得力向上に役立つプレゼンテーションを中心に。楽しく刺激にあふれた授業を実施する。</p>
到達目標	<p>プロのデザイナーになるための基本的な考え方の理解。柔軟な発想方法の練習による体得。課題を整理しまとめる技術の体得。前期、中期、後期とレベルを上げた課題に対するプレゼンテーションは他の授業でも役立つ。</p>
授業計画	<p>第1回/講師紹介(前編) 前期カリキュラムの解説。発想クイズ(A)。          第2回/講師紹介(後編) 学生自己紹介60秒実技① 発想クイズ(B)。          第3回/学生自己紹介60秒実技② デザイン領域の拡大(デザイナー佐藤可士和)          第4回/学生自己紹介60秒実技③ テクニックより情熱(日本の昭和テレビCM)          第5回/学生自己紹介60秒実技④ 平面だからできる表現(日本の名作グラフィック広告)          第6回/学生自己紹介60秒実技⑤ 言葉の大切さ(俳句を作ってみよう)          第7回/デザイナーとして社会問題を考える(ACジャパン広告広告)          第8回/デザイナーとして知っておくべきこと(JARO広告審査機構)          第9回/俳句課題の講評(2~3週前に出題)          第10回/前期課題プレゼン実習・講評①          第11回/前期課題プレゼン実習・講評②          第12回/前期課題プレゼン実習・講評③ 講評 前期授業の総括。          第13回/中期講義の解説。写真の力① 人物を捉え表現する          第14回/写真の力② 自然を捉え表現する          第15回/写真の力③ 社会を捉え表現する          第16回/映画で知る映像の力① 撮影技術・編集技術          第17回/映画で知る映像の力② SF映画          第18回/映画で知る映像の力② 特撮映画          第19回/時代を切り取る言葉(コピーライター土屋耕一)          第20回/社会を切り取る物語(CMプランナー三浦武彦)          第21回/時代と社会と並走する映像(平成~令和のテレビCM・WEB映像)          第22回/中期課題プレゼン実習・講評①          第23回/中期課題プレゼン実習・講評②          第24回/中期課題プレゼン実習・講評③ 中期授業の総括          第25回/後期授業の解説。拡大続ける表現力(アニメーションの世界)          第26回/日本と異なる発想力(海外の広告)          第27回/地域に根差した表現(地方の広告)          第28回/プレゼンテーション実例紹介(幻の福岡オリンピック資料)          第29回/プレゼンテーション実例紹介(オリンピック招致プロによる演習映像紹介)          第30回/後期課題プレゼン実習・講評①          第31回/後期課題プレゼン実習・講評②          第32回/後期課題プレゼン実習・講評③ 後期授業の総括</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点(80%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD13		
授業科目名	ビジネス概論		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	経営コンサルタントの実務経験のある教員が、ビジネスの構造・仕組み、利益構造の基礎的な知識や経営あるいはプロジェクトを成功させるために必要なプロセスを体系的に学ぶ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからのビジネス社会で活躍するための基礎知識を身に付ける</li> <li>・様々な業界における企業活動の特徴について理解を深める</li> </ul>
授業計画	第1回 ビジネスの基本について 第2回 ビジネスモデル研究（流通・小売1） 第3回 ビジネスモデル研究（流通・小売2） 第4回 ビジネスモデル研究（飲食・各種サービス） 第5回 ビジネスモデル研究（交通・観光レジャー） 第6回 ビジネスモデル研究（住宅・建設・不動産） 第7回 ビジネスプランの基本 第8回 販売プランのたて方 第9回 売上予測の方法 第10回 事業収支計画・返済計画の考え方 第11回 税金やビジネスに必要な手続き 第12回 今後のビジネス展望について
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD15		
授業科目名	写真基礎		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	写真スタジオで広告写真に携わった経験を持つ教員が、カメラの扱い方から写真の基礎知識・技術の指導を行う。
到達目標	カメラやスタジオ等の基本操作、写真の基礎知識、歴史を学び、どのような分野の撮影でも活用できるしっかりとした写真の土台をつくる。また写真家の作品を紹介し、現実の世界を写真をとおしてさらに楽しめる感覚と表現力を養う。
授業計画	<p>第1回 写真はなぜ写るのか。 1眼レフカメラの仕組み 手ぶれ ピント</p> <p>第2～3回 露出 絞りとシャッタースピードの描写の違い ISO感度 写真の歴史</p> <p>第4～6回 露出補正 反射光露出計の特性 測光方式</p> <p>第7～8回 レンズの種類と特性 光源の色とホワイトバランス</p> <p>第9～10回 ピクチャーコントロール モノクロの魅力</p> <p>第11回 これまでの作品を通してプレゼンテーションと講評</p> <p>第12回 組写真テーマ決め (第13～19週 組写真制作同時進行)</p> <p>第13回 入射光露出計の特性 スタジオ撮影 (タングステンランプ)</p> <p>第14回 RZ6×7の基礎撮影 著作権・肖像権について</p> <p>第15～16回 スタジオ撮影 (大型ストロボの基礎操作 ポートレート)</p> <p>第17～18回 スタジオ撮影 (大型ストロボ 物撮り) Photoshopでの画像処理</p> <p>第19回 35ミリフィルム一眼レフカメラでのリバーサル撮影</p> <p>第20回 組写真プレゼンテーションと講評/キャプション フィルム整理</p>
教科書	フォトグラファーズ・ハンドブック～写真家のための必修基礎知識～
成績評価方法	定期試験 (20%)、各課題における作品評価点 (30%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点 (50%) により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする



科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD16		
授業科目名	ドローイング		
授業時間数	96		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	鉛筆の削り方・描き方から始まり、練り消しによる消し方・描き方、対象物を用紙に入れ込む構図の取り方、紙質、画材の特徴を理解し、デッサンの基礎的知識と技術の修得する。対象物の観察する力に必要となる自然現象や人工的現象の知識を巡らせ、正確な描写技術とともに対象の存在感や空気感までを平面に定着する描く力を身につける。デッサン力を身につけた上で、短時間で形と構図を線の抑揚で描き表すクロッキーの力を身につける。
到達目標	1) デッサンの基礎的な知識と技術を身につける。2) 対象物を取り巻く現象の法則を踏まえた観察力を養う。3) モチーフの素材による質感の描き分け技法を修得する。4) 絵画的な解釈を学習する。立体感、空間表現、構図等の絵画技術を修得する。
授業計画	第1～2回 鉛筆の削り方／グレースケール 第3～4回 石膏デッサン／立方体 第5～7回 柔らかい紙素材のデッサン／トイレットペーパー 第8～10回 プラスチック素材のデッサン／りんご 第11～12回 人物クロッキー1 第13～16回 瓶＋紙の組モチーフのデッサン 第17～20回 金属＋レンガの組モチーフのデッサン 第21～24回 木の立方体 or かぼちゃ 着彩 第25～26回 人物クロッキー2 第27～32回 手のデッサン
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD17		
授業科目名	知的財産学		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	弁理士として知的財産業務に携わった経験を持つ教員が、知的財産の基礎知識と活用方法、対処方法について、様々な具体的事例をもとに講義する。
到達目標	本講義はデザイン業界はもとより社会的に重要とされている著作権、意匠権、商標権などの知的財産に関わる基礎知識や活用方法を履修し、自らが制作した著作物や創作物の管理を円滑に行えるための基礎知識を履修する。また、自らが創作した著作物や創作物を模倣された場合の対処方法についても検討できる基礎知識を身につける。
授業計画	第1回/知的財産権について 第2回/知的財産権法の意義と概要 第3回/知的創造物についての権利 第4回/営業上の標識についての権利 第5回/権利者と権利侵害者 第6-7回/商標調査ワークショップ① 第8-9回/商標調査ワークショップ② 第10回/意匠権・商標権の取得までの流れ 第11回/権利を行使する方法 第12回/定期試験の検証とアドバイス 第6-7回/商標調査ワークショップ① 第8-9回/商標調査ワークショップ② 第10回/意匠権・商標権の取得までの流れ 第11回/権利を行使する方法 第12回/J-プラットフォームの使用方法について
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする。

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD18		
授業科目名	造形演習		
授業時間数	36		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	描く・貼る・切る・組み立てるなどの手作業の演習を通して、造形の基礎を学ぶ。 主観的なイメージの想起から、客観的な複数の視点に耐えうる洗練されたデザインへ、ディスカッションを含めながらクラス全体で講評していく。
到達目標	手を動かしながらアナログでのものづくりの感覚を養う。 感性を軸に他者へ伝えるための技術の向上を目指す。アイデアや構成の引き出しを増やす。
授業計画	第1回～第4回 課題① 気持ちの良い室内
	第5回～第8回 課題② アナログ技法によるブックカバー
	第9回～第12回 課題③ クラフトボックス
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各製図課題における作品評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD19		
授業科目名	社会人基礎		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	どんな仕事（職種）であれ、それを行っていく上で必要とされる力＝社会人基礎力を磨く。社会の出来事を知る→その背景を考える→考えたことを他人に伝える（知る→考える→伝える）という流れを重視し、実社会にそのままつながる学びの場とする。新聞記事などを使ったワークショップを多彩に取り入れ、仲間同士で学び合う雰囲気大切に。眠らせない、眠れないアドリブいっぱい50分。
到達目標	人まねでない、自分ならではのものの見方・考え方ができるようになる。自分の思いを他人にきちんと伝えられる力（話す、書く力）を身につける。
授業計画	<p>第1回/答えは一つじゃない～正解のない問題にどう答えるか</p> <p>第2回/ニュース検定～社会への関心度をチーム対抗で競う</p> <p>第3回/「伝える」と「伝わる」は別～「伝える」で終わらず、相手に「伝わる」ための表現法</p> <p>第4回/気分はコメンテーター～ニュースについての自分ならではの意見を言う、書く</p> <p>第5回/シンポン（新聞＋本）バトル～新聞記事と図書館の本を組み合わせたプレゼンゲーム。図書館に親しむ</p> <p>第6回/言葉を楽しむ～記事の見出しを自由に組み合わせる「見出し川柳」コンテスト</p> <p>第7回/要点をつかむ～何について何を言いたいのかという要約のコツ</p> <p>第8回/結論ファースト～結論を先に示し、理由・根拠を後で述べる表現スタイル</p> <p>第9回/右脳と左脳～創造性と論理性で挑む言葉ゲーム</p> <p>第10回/名文より明文～実社会で求められる「明文」の書き方</p> <p>第11回/争論～意見の分かれるテーマについて討論</p> <p>第12回/まとめ</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	制作した各回の課題評価点数での評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD20		
授業科目名	広告概論		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	様々な広告サンプルや事例を通じて広告媒体の展開方法を学ぶ。また、広告業界で使用されている専門用語を各ジャンルの事例や資料を通じて深く理解する。																								
到達目標	広告業界の流れや専門用語、広告心理、各媒体の特長を理解し、現代社会において効果的な広告提案ができる力を養う。また、様々なクリエイターを紹介することによりアイデアや表現の幅を広げるきっかけをつくる。																								
授業計画	<table border="1"> <tr><td>第1回</td><td>広告の役割</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>広告の種類</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>購買の心理と広告心理</td></tr> <tr><td>第4回</td><td>心理に作用する広告の作り方</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>広告媒体の特長1（マスコミ4媒体）</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>広告媒体の特長2（SNSと交通広告、屋外広告等）</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>印刷について1（各印刷媒体の特性）</td></tr> <tr><td>第8回</td><td>印刷について2（各印刷媒体の特性）</td></tr> <tr><td>第9回</td><td>マーケティングについて（ペルソナマーケティング等）</td></tr> <tr><td>第10回</td><td>ブランディングについて</td></tr> <tr><td>第11回</td><td>校正について（文字校正記号など）</td></tr> <tr><td>第12回</td><td>これからの広告業界とデザインの関係</td></tr> </table>	第1回	広告の役割	第2回	広告の種類	第3回	購買の心理と広告心理	第4回	心理に作用する広告の作り方	第5回	広告媒体の特長1（マスコミ4媒体）	第6回	広告媒体の特長2（SNSと交通広告、屋外広告等）	第7回	印刷について1（各印刷媒体の特性）	第8回	印刷について2（各印刷媒体の特性）	第9回	マーケティングについて（ペルソナマーケティング等）	第10回	ブランディングについて	第11回	校正について（文字校正記号など）	第12回	これからの広告業界とデザインの関係
第1回	広告の役割																								
第2回	広告の種類																								
第3回	購買の心理と広告心理																								
第4回	心理に作用する広告の作り方																								
第5回	広告媒体の特長1（マスコミ4媒体）																								
第6回	広告媒体の特長2（SNSと交通広告、屋外広告等）																								
第7回	印刷について1（各印刷媒体の特性）																								
第8回	印刷について2（各印刷媒体の特性）																								
第9回	マーケティングについて（ペルソナマーケティング等）																								
第10回	ブランディングについて																								
第11回	校正について（文字校正記号など）																								
第12回	これからの広告業界とデザインの関係																								
教科書	担当教員において配布資料作成																								
成績評価方法	定期試験・小テスト・レポートにおける点数での評価点（80%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。																								
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする																								

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD22		
授業科目名	現代デザイン史		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	現代グラフィックデザインの基礎的な用語、歴史、思想、運動、デザインスタイル、時代を代表する作者とその作品の知識を修得する。また過去の歴史が現在のグラフィックデザインに活用されている事例を学ぶことからデザインスタイルの応用力の理解を深める。デザインスタイルを用いて練習課題を制作し技術を身につける。
到達目標	1) グラフィックデザインの用語を中心に、デザイン運動、歴史、背景、デザイン様式、西洋と日本の代表的なデザイナーとその作品を理解し現代デザインの基礎的な知識を修得する。2) デザインの歴史が現在の社会の中でどのように広告や商品のデザインに活用されているのかを理解する。3) 過去の歴史を理解することで自身の創作活動の表現手段の幅を身につける。
授業計画	<p>第1回 遠近法、アナモルフォーシス、クアドラトゥーラ、トロンプイユ</p> <p>第2回 錯視デザイン</p> <p>第3回 錯視を用いた練習課題</p> <p>第4回 アーツアンドクラフツ、アール・ヌーボー、アールデコ</p> <p>第5回 アール・ヌーボーまたはアールデコスタイルを用いた練習課題</p> <p>第6回 バウハウス、ダダ</p> <p>第7回 ポップアート、サイケデリックアート</p> <p>第8回 グラフィティアート、パンク、ポストモダン、グランジ</p> <p>第9回 日本のグラフィックデザインの歴史（広告史）1910～1970年代</p> <p>第10回 日本のグラフィックデザインの歴史（広告史）1970～1980年代</p> <p>第11回 日本のグラフィックデザインの歴史（広告史）1980年代～近年</p> <p>第12回 歴史に残る広告事例</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	定期試験は100点満点の60点未満を再試験とする

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD23		
授業科目名	ホームページ基礎		
授業時間数	96		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社の制作部でWebデザインを担当した教員が、その経験を生かしてHTMLマークアップによるインターネット上での情報発信技術とスタイルシート・コーディングによるウェブデザインの技法を指導する。
到達目標	Webサイト、インターネット、ワールド・ワイド・ウェブ（WWW）等のバックグラウンドで稼働する基本的な仕組みを把握する。また、Webサイト制作者としての基礎知識や用語の理解。HTMLとスタイルシート（CSS）のコーディング・ソースを理解する。レイアウト計画を立て、Dreamweaverによるスタイルシート（CSS）を使ったレイアウトを理解する。
授業計画	<p>第1回／Webサイトの仕組み</p> <p>第2回／訪問者に優しいWebサイト作り</p> <p>第3回／ユーザビリティ、アクセシビリティ</p> <p>第4～5回／HTMLタグについて</p> <p>第6～8回／スタイルシート（CSS）について</p> <p>第9回／レイアウト計画</p> <p>第10回／スタイルシート（CSS）によるレイアウト-1</p> <p>第11回／スタイルシート（CSS）によるレイアウト-2</p> <p>第12回／スタイルシートによる複数のデザイン</p> <p>第13回／実技試験</p> <p>第14回／作成するホームページの構成を確認する</p> <p>第15回／Dreamweaverのセッティング</p> <p>第16回／文字とイメージの配置</p> <p>第17回／文字をフォーマットする</p> <p>第18回／デバイスに合わせたレイアウト調整</p> <p>第19回／ヘッダー部分をデザインする</p> <p>第20回／ナビゲーションバーをデザインする</p> <p>第21回／サイドバーをデザインする</p> <p>第22回／メインコンテンツをデザインする</p> <p>第23回／オリジナル・ウェブサイト</p> <p>第24～25回／jQuery（JavaScriptライブラリ）について</p> <p>第26回／FTPソフトの利用</p> <p>第27回／SEO（検索エンジン最適化）について</p> <p>第28回／HTML 5、CSS 3について</p> <p>第29～30回／グリッドシステムによるレイアウト</p>
教科書	HTML5&CSS3ポケットリファレンス（技術評論社）
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD24		
授業科目名	ビジネスマナー		
授業時間数	24		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	接遇指導の実績のある教員が、社会人としての基礎力を指導する。第一印象から身だしなみ、正しい言葉遣いから、「話す」「聞く」等の表現を実践的に身に付け、公的な場面での好感の持てるマナーやコミュニケーション力を習得する。
到達目標	基本的なビジネスマナーを学び、日々のコミュニケーションを向上し、社会人として円滑な人間関係を築くための基礎力を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション（社会人としての心構え）</p> <p>第2回 基本動作 立ち振る舞い、第一印象について、お辞儀の仕方、語先語礼、発声</p> <p>第3回 言葉遣いの基本① 話の仕方、話の聞き方、敬語の使い方</p> <p>第4回 言葉遣いの基本② 話しやすい敬語</p> <p>第5回 電話対応① 電話の掛け方、受け方</p> <p>第6回 電話対応② 伝言メモの作成、アポイントの取り方</p> <p>第7回 面接対応① 面接時の入退室、好印象を与える自己紹介の仕方</p> <p>第8回 面接対応② 質問に対してのビジネスマナーを意識した返答の仕方</p> <p>第9回 会社訪問時のマナー 会社訪問へのマナーを理解する</p> <p>第10回 ビジネスマナー基礎① 名刺の受け取り方、渡し方、来客案内時の席次を知る</p> <p>第11回 ビジネスマナー基礎② 上司に対してのマナー（報告・連絡・相談）</p> <p>第12回 インターンに向けて、インターンシップの目的を理解する</p>
教科書	担当教員による配布資料作成
成績評価方法	テーマに沿った演習評価（70%）及び、授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	



科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD26		
授業科目名	ベーシックデザイン		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。
到達目標	色の基礎知識を習得するための色彩検定取得と、その知識を生かしテーマに沿った色彩計画、平面構成力、画材による表現技法を修得する。
授業計画	第1回 色の分類と三属性 第2回 混色 第3回 光と色 第4回 視覚構造 第5回 照明・混色 第6回 PCCS 第7-8回 心理効果・視覚効果・知覚効果 第9-10回 色彩調和 第11回 地と図 第12-13回 色彩効果 第14回 色名 第15-19回 色彩検定対策 第20-24回 平面構成
教科書	文部科学省後援AFT公式テキスト対応 最短合格 色彩検定2・3級 テキスト&問題集 (ナツメ社)
成績評価方法	各課題における作品評価点 (50%)、色彩検定合否 (10%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点 (40%) により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD27		
授業科目名	社会研究 I		
授業時間数	20		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期・後期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	働くことの意義、業界研究、自己分析を経て自己の社会的確立を目的とし、進路決定の基本となる考え方と就職活動の具体的方法を学ぶ。
到達目標	基本的な履歴書作成や添え状、お礼状の書き方、就職活動を行なう上で必要とされるマナーや礼儀作法を修得し、就職活動に向けて前向きに取り組む力を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 就職活動における心構え（働くということを考える）</p> <p>第2回 就職活動の流れと学内の手続きについて</p> <p>第3回 企業が求める人材像・スキルとは</p> <p>第4回 業界研究・企業研究について</p> <p>第5回 求人情報の見方、検索の仕方</p> <p>第6回 自己分析①（手法と興味・強み）</p> <p>第7回 自己分析②（相手に伝わるような表現）</p> <p>第8回 履歴書の書き方①（氏名・住所・学歴・職歴・資格欄）</p> <p>第9回 履歴書の書き方②（得意科目・アピールポイント・志望動機）</p> <p>第10回 面接対策/導入</p> <p>第11回 面接対策（集団面接）</p> <p>第12回 面接対策（集団面接）</p> <p>第13回 筆記試験対策①（一般教養）</p> <p>第14回 筆記試験対策②（一般教養）</p> <p>第15回 筆記試験対策③（SPI試験）</p> <p>第16回 グループディスカッション①（概要と選考方法）</p> <p>第17回 グループディスカッション②（実践）</p> <p>第18回 グループディスカッション③（実践と評価）</p> <p>第19回 文書作成（お礼状の書き方）</p> <p>第20回 インターンシップについて</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD28		
授業科目名	修了制作		
授業時間数	176		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告の実務経験がある教員が、地域活性化と社会貢献を目標に自らテーマを求め、グラフィックデザインによる解決策を指導する。問題を提起し、解決策の企画立案から調査分析、デザイン制作、プレゼンテーションまでの広告の一連の流れを修得する。
到達目標	グラフィックデザインで地域活性化や社会貢献を目標に、企画を立案し、調査分析を元に企画書作成、広告媒体計画を経てデザイン制作、プレゼンテーションまで一連の流れを理解し、グラフィックデザインによる問題解決能力を修得する。
授業計画	第1-6回/ テーマの検討
	第7-18回/ 企画書作成
	第19-21回/ 広告媒体計画
	第22-51回/ 広告媒体デザイン制作
	第52-59回/ プレゼンテーション用企画書
	第60-64回/ プレゼンテーション
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	課題における作品評価点(60%)プレゼンテーション(10%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD29		
授業科目名	総合デザイン論		
授業時間数	24		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、各専門分野の講師陣からオムニバス形式により具体的実例を専門家の考え方や手法を理解する。
到達目標	建築、インテリア、芸術、グラフィック、ファッション、インターネット、ディレクションなど各デザイン分野の専門知識を広く理解し、視野の広い発想力を養う。
授業計画	第1回 サインについて
	第2回 広告写真について
	第3回 グラフィックデザインについて
	第4回 インターネットリテラシーについて
	第5回 フォトショップについて
	第6回 和田誠展について
	第7回 ファッションについて
	第8回 建築とデザインについて
	第9回 アニメーションについて
	第10回 彫刻について
	第11回 広告映像について
	第12回 第1回～11回までのレポート作成
	第13回 デザイン思考／プレゼンテーション
	第14回 建築からプロダクトグラフィック多種に渡るデザインについて
	第15回 雑貨デザインについて
	第16回 商空間店舗デザインについて
	第17回 インテリアコーディネートについて
	第18回 Webデザインについて
	第19回 キャラクターデザインについて
	第20回 ファッションビジネスについて
	第21回 広告コピーについて
	第22回 栄養学について②食事とデザイン
	第23回 ファッションコーディネートについて
	第24回 第13回～23回までのレポート作成
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	受講レポート(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD32		
授業科目名	社会研究Ⅱ		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	将来の職業への関心を更に深め、働く事の意義や構造について学ぶと同時に、社会におけるコミュニケーションのあり方を修得し、意欲的な人生設計への実現に向けた選択行動が取れるようになる事を目的とする。
到達目標	自分の将来像を具体的にイメージできるようになる為に、職業観、将来設計能力を養い、人間力、社会人基礎力を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 働く意味について考える（仕事や働き方を選ぶ基準について）</p> <p>第2回 社会に必要な基礎知識①（労働条件・賃金）</p> <p>第3回 社会に必要な基礎知識②（社会保険制度）</p> <p>第4回 社会に必要な基礎知識③（解雇と退職）</p> <p>第5回 社会に必要な基礎知識④（関係法令）</p> <p>第6回 キャリアデザイン 実現したい将来像について</p> <p>第7回 ライフプランの作成 自己の今後の在り方・生き方について</p> <p>第8回 キャリアデザインの評価 職業人生について主体的に構想・設計したことを振り返る</p> <p>第9回 人間関係とコミュニケーション コミュニケーション技術を習得し人間関係作りを学ぶ</p> <p>第10回 スピーチ訓練①（自信をもって伝える）</p> <p>第11回 スピーチ訓練②（魅力あるプレゼンテーション）</p> <p>第12回 早期研修について/まとめ</p>
教科書	担当教員において配布資料作成 働く若者のハンドブック（熊本県雇用環境整備協会）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD34		
授業科目名	ホームページデザイン		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社の制作部でWebデザインを担当し制作した経験のある教員がその経験を生かして、HTMLマークアップによる情報の階層化をすることでプログラミングへの検索エンジン最適化をさせ、CSSコーディングによるウェブデザインのトレンドを踏襲しUI、UXを最適化することを指導する。
到達目標	インターネット上に情報を発信する際、検索エンジンへの最適化を図るためHTMLマークアップの階層化による構築と人間工学を踏まえたユーザーインターフェイスをCSSコーディングすることでデザインのトレンドを踏襲しながらウェブサイトデザインを学習する。
授業計画	第1回／HTMLの基本構造 第2回／スタイルシートの外部リンク、リセット 第3回／webデザインのトレンド解説・タイポグラフィ 第4回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作 第5回／webデザインのトレンド解説・流体シェイプ 第6回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作 第7回／webデザインのトレンド解説・ミニマルデザイン 第8回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作 第9回／webデザインのトレンド解説・マイクロインタラクション 第10～11回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作 第12回／webデザインのトレンド解説・グリッドデザイン 第13～14回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作 第15回／webデザインのトレンド解説・ノングリッドデザイン 第16～17回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作 第18回／webデザインのトレンド解説・フラットデザイン2.0 第19回～第20回／トレンドに基づいたWEBサイトの実制作
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD35		
授業科目名	DTP演習		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	Macintoshを用いてIllustrator、Photoshop、InDesignの基本的操作と技術を修得する。雑誌の誌面、チラシ、パンフレットのデザイン制作を通して、文字の優先順位や可読性を理解し、素材のレイアウト、配色計画、デザインの素材制作の技術を、校正を繰り返しながら習熟する。
到達目標	1) Illustrator、Photoshop、InDesignの基礎的知識と操作技術を修得する。2) DTPによる広告物、誌面制作のデザイン技能を身につける。3) 文字と画像、素材のレイアウト力と配色計画の技能を身につける。4) アイキャッチがあり一つの世界観としてまとまりがあるビジュアルデザイン力を養う。
授業計画	第1回 誌面レイアウト（雑誌見開き） 第2-3回 InDesignによる旅行チラシ 第4-6回 InDesignによる誌面レイアウト 第7-9回 取寄チラシレイアウト 第10-11回 残暑見舞いデザイン（DM） 第12-14回 旅行チラシレイアウト 第15-17回 レシピ誌面見開きレイアウト 第18-20回 観光ポスターレイアウト
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD36		
授業科目名	広告デザインⅡ		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社の制作部で広告デザインを担当した教員が、各広告目的に応じたデザイン制作を指導する。
到達目標	1) 各広告媒体の特色を理解し、各広告媒体に効果的な表現手法を修得する。2) 流通情報や社会背景を分析しターゲットとコンセプトを設定する力を身につける。3) コンセプトに基づいた広告訴求力を習得する。4) 公共機関と連携した広告制作から依頼者や現地のニーズを分析する能力、デザインで解決する技術と経験を獲得する。
授業計画	第1-4回 企業課題制作 第5-12回 公共広告課題制作 第13-20回 ソーシャルデザイン研究課題（地域活性化とデザイン）
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（70%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	授業前後の取材、制作も評価の対象とする。



科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD37		
授業科目名	CIデザイン		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	ブランディングデザインの基本的な考え方であるCIデザインのプロセスを学習。演習課題や産学連携課題に取り組むことで社会におけるブランディングの位置づけや重要性を理解する。
到達目標	コンセプトメイキング、コンセプトを踏まえたマークやシンボルの制作の仕方を理解する。また、制作されたデザインの管理方法、展開方法を理解しブランディングの一連の流れを履修する。
授業計画	<p>第1回 CIデザインとは</p> <p>第2回 産学連携課題（マークデザイン）オリエンテーション、調査</p> <p>第3回 産学連携課題（コンセプトワーク、ラフスケッチ）</p> <p>第4回 産学連携課題（コンセプトワーク、ラフスケッチ）</p> <p>第5回 産学連携課題（デザイン制作）</p> <p>第6回 産学連携課題（デザイン制作、ブラッシュアップ）</p> <p>第7回 名刺デザイン（文字とホワイトスペースの関係）</p> <p>第8回 セルフブランディング（コンセプトワーク）</p> <p>第9回 セルフブランディング（デザイン制作）</p> <p>第10回 セルフブランディング（シグネチャシステムについて）</p> <p>第11回 セルフブランディング（アプリケーションについて）</p> <p>第12回 セルフブランディング（プレゼンテーションと講評）</p> <p>第13回～19回 企業（クライアントを設定したデザイン制作）</p> <p>第20回 企業課題プレゼンテーションと講評会</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD38		
授業科目名	Web演習		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	Web制作業務に携わった経験を持つ教員がその経験を生かしてWebフレームワークに関する技術を指導する。
到達目標	Foundation Frameworkを基礎としたHTMLマークアップ、CSSコードやJavaScriptコードの汎用型の定型スクリプトをフレームワークとし、煩雑で手間がかかる単純なコーディングの部分をフレームワークに任せ、よりデザインに集中できるようスクリプト技術を学習する。
授業計画	第1回 Frameworkの考え方と世界のツール群 第2回 Foundation Framework基礎 第3回 Foundation Framework 初期設定とclassについて 第4回 Foundation Framework コントロール系class 第5回 Foundation Framework レイアウト系class 第6回 Foundation Framework ナビゲーション系class 第7回 Foundation Framework コンテナ系class 第8回 デザイン模写(制作者のデザイン意図、ユーザー心理を考察する) 第9-11回 疑似案件 デザイン制作(スマートフォンサイトの制作実践) 第12回 オリジナルの汎用classの考え方 第13回 Foundation.cssの構成とカスタマイズポイント 第14回 IDを用いたページカスタマイズ概論 第15回 デザイン模写(制作者のデザイン意図、ユーザー心理を考察する) 第16回 CSS模写(CSS解析、設計のポイントを考察する) 第17~20回 疑似案件 デザイン制作(レスポンシブサイトの制作実践)
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD39		
授業科目名	卒業制作		
授業時間数	384		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	中期・後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>広告媒体においてグラフィックデザイン制作の実務経験のある教員が指導にあたる。卒業制作は各自が自由に設定したテーマに対し、これまで習得してきたグラフィックデザイン領域に関する専門的な知識や、技術、感性、表現などを使い、これからの社会への問題提起・解決に向けての提案を行っていく。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの広告分野、グラフィックデザイン分野等の視覚伝達デザイン領域における歴史的背景や流れが理解でき、それを基に、これからあるべき視覚伝達デザイン分野領域の姿を思索し、自身の考えとして論ずることができる。</li> <li>・現代もしくは未来社会に対して視覚伝達デザイン分野からの問題提起を行うことができ、問題解決のための具体的な提案を作成できる能力を習得する。</li> </ul>		
授業計画	第1回～2回	卒業制作概要の説明および制作スケジュールの設定。	
	第3回～6回	事前調査・制作テーマの方向性の検討	
	第7回～12回	本調査・情報整理・分析・テーマの決定	
	第13回～14回	中間報告プレゼンテーション・講評	
	第15回～30回	企画書制作	
	第31回～32回	企画案プレゼンテーション・講評	
	第33回～56回	デザイン案制作・デザインコンセプト・仕様決定・ラフスケッチによる検討	
	第57回～58回	デザイン案中間報告プレゼンテーション・講評	
	第59回～76回	デザイン制作	
	第77回～79回	プレゼンテーション・講評	
教科書	特に指定なし		
成績評価方法	卒業制作作品評価点（70%）プレゼンテーション（10%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価		
備考			

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD40		
授業科目名	ビジュアル研究		
授業時間数	48		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	業界講話や活躍されているデザイナーを紹介し、自身の就職活動について意欲的に考える姿勢を身に付ける。グループワークも交えデザインの考え方を深め言葉で表現する力を養う。そして、その考察したものから意味のあるアウトプットを目指す。
到達目標	自身の就職活動について意欲的に考える姿勢を身に付ける。新たにふれる素材、材料や言語を通して、自身の制作の可能性を拡げる。ポートフォリオの精度を上げ、伝わりやすさ、印象に残るビジュアル表現を目指し卒業制作へとつなげ活かす。
授業計画	<p>第1回 業界講話、デザイナー紹介(グラフィック)、課題制作 発想を楽しむ</p> <p>第2回 業界講話、デザイナー紹介(ブックデザイン)、課題制作 考えの視覚化：言葉で表現</p> <p>第3回 業界講話、デザイナー紹介(映像)、課題制作 つなぎ方を考える</p> <p>第4回 業界講話、デザイナー紹介(ブランディング)、課題制作 センスとは</p> <p>第5回 業界講話、デザイナー紹介(テキスタイル)、課題制作 パターン化</p> <p>第6回 版画、説明、ラフスケッチ 美は生活のなかにある</p> <p>第7回 転写</p> <p>第8回 削り出し</p> <p>第9回 削り出し</p> <p>第10回 刷り、調整、乾燥</p> <p>第11回 ポートフォリオブラッシュアップ、夏季休業中就職活動計画作成</p> <p>第12回 相互評価、総評</p> <p>第13-21回 ポートフォリオブラッシュアップ、企業研究、面接練習、履歴書添削</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	制作した各回の課題評価点数での評価点(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD41		
授業科目名	写真表現学		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	写真デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	写真スタジオで広告写真に携わった経験を持つ教員がその経験を生かして写真表現のツールになる撮影技術を身につけながら、独自の作家性を養い写真家としての作品制作の進め方や展示方法等を指導する。
到達目標	写真表現のツールになる撮影技術を身につけながら、独自の作家性を養い写真家としての作品制作の進め方や展示方法等を学ぶ。前期は指定した簡単な方法でテーマ決めから発表までを1周し、中期はさらに本格的に作品の内容や仕上げの質の向上、展示場所を想定し表現が合った空間づくりを考える。
授業計画	<p>第1～2回 写真基礎復習 ストロボ撮影実技試験 RZ67接写の露出補正</p> <p>第3～5回 「模倣」作家の作品の分析 模倣した作品を制作する。</p> <p>第6回 「10枚の組写真」テーマを決め、作品のテイストやステートメントを考える。</p> <p>第7～11回 「10枚の組写真」制作、再考、作品の入れ替えをくりかえし、質をあげる。</p> <p>第12回 夏休み撮影のなかから、テーマの絞り込み。</p> <p>第13～14回 セレクト プリントについて</p> <p>第15回 仕上げ マット切り、額装等について</p> <p>第16回 作品の順番 作品応募などの取り扱いの注意点</p> <p>第17回 プロモーション</p> <p>第18回 作品の配送 展示場でのレイアウト 搬入/搬出方法 照明</p> <p>第19回 展示開期中、終了後にすべきこと</p> <p>第20回 作品プレゼンテーションと講評</p> <p>※12～20回 作品制作→展示 テーマの内容や仕上がりによって進行が変わります</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（70%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	授業前後の制作も評価の対象とする。（平常点への加算）

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD42		
授業科目名	広告写真		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	写真デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告業界で広告写真に携わった経験を持つ教員がその経験を生かして広告媒体における写真撮影方法と関連する機材の操作及び設定法の基本を指導し、広告業界におけるフォトグラファーの撮影技術を理解する。
到達目標	前期は写真技術の向上、中期に写真イメージ向上を中心に、広告写真の現場に必要な知識と技術を習得する。
授業計画	<p>第1回 写真・露出・レンズ画角の基礎知識・カメラと三脚の取扱い</p> <p>第2回 ラチチュードの理解（レフ効果）・入射光式露出計の使い方</p> <p>第3回 自然光によるポートレイトのコントラストコントロール</p> <p>第4回 被写界深度のコントロール</p> <p>第5回 画角によるパースペクティブの違い・自然光での平面複写</p> <p>第6回 シャッタースピードのコントロール</p> <p>第7回 筆記と実践テスト（ぼかす・プラス・ひずませる）</p> <p>第8回 試験結果復習・内外観・風景や街中をパースで捉える</p> <p>第9回 ストロボ1灯によるライティングの基礎</p> <p>第10回 人物ライティング（キリヌキとカクハン）</p> <p>第11回 ライティングの応用（カゲナシ・カゲイキ）</p> <p>第12回 テスト（自然光とライティングを使いこなす）</p> <p>第13回 広告撮影課題（撮影ラフ作成→撮影）</p> <p>第14回 広告撮影課題（撮影実践）</p> <p>第15回 広告撮影課題（広告レイアウト作成）</p> <p>第16回 一眼レフによる動画撮影の基礎・筆記試験</p> <p>第17回 一眼レフによる15秒CM制作（絵コンテ）</p> <p>第18回 一眼レフによる15秒CM制作（撮影・オフライン）</p> <p>第19回 一眼レフによる15秒CM制作（編集・グレーディング）</p> <p>第20回 写真作品撮影（ロケ）</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	機材の使いこなし、メモの仕上げを徹底する

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD43		
授業科目名	映像基礎		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	写真デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	映像編集に携わった教員が、映像を撮影するためのカメラワークの操作方法とワークステーションの中で編集作業を行う映像制作の基本の工程をを指導し、実制作を交えて理解する。
到達目標	映像制作における専門知識を習得する。 また、放送規格、撮影・編集の基礎概念、制作に必要なソフトウェアを習得する。
授業計画	第1回 映像基礎講座1 第2回 画像のデジタル化 第3回 映像基礎講座2 第4回 AdobePremiere基礎1 第5回 AdobePremiere基礎2 第6回 コマ撮り 第7回 コマ撮り 第8回～12回 撮影 第13回 撮影素材～扱い方について 第14回 アフターエフェクトの基本について 第15-17回 Adobe AfttterEffects基礎課題 第18-20回 アフターエフェクトの応用、課題
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD44		
授業科目名	キャラクター演習		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	マンガ・キャラクターデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	マンガ制作及び、広くキャラクター制作に役に立つ発想法、ストーリーを俯瞰する視点で全体を把握しながらキャラクターの人格形成を考える手法を理解する。
到達目標	マンガ制作におけるキャラクターづくりを基本から学び、メインキャラクター、サブキャラクターの描き分け、キャラクターの性格表現・感情表現、ストーリーに沿ったキャラクター制作を課題を通して学習する。
授業計画	第1～2回 マンガの歴史
	第2～3回 年齢の描き分け
	第4～5回 キャラクター設定①
	第6～7回 キャラクター設定②
	第8～9回 キャラクター設定③
	第10～11回 キャラクター設定④
	第11～12回 キャラクター設定⑤
	第13～14回 キャラクター設定⑥
	第14～15回 場面設定
	第16～20回 短編マンガキャラクター設定制作
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	



科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD45		
授業科目名	シナリオ演習		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	マンガ・キャラクターデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	実際に月刊少年誌で連載の経験のある教員が、オリジナルの物語が描けるようにストーリーの構成力を繰り返し制作することで精度を高める技術を指導する。
到達目標	マンガ制作行程の添削を経て物語を描き上げることを目標とする。最終的に投稿に繋げていく。
授業計画	<p>第1回 物語のイメージ確認 第1-11回 長編ネーム添削（同時進行）</p> <p>第2回 物語の構成の基本</p> <p>第3回 物語の基本 起承転結</p> <p>第4-5回 物語の発想 ヤマ場、オチ、キャラクター</p> <p>第6-7回 ネームの切り方 ページの振り分け、吹き出し、セリフ、コマの減らし方</p> <p>第8回 ネームの直し方 2コマ漫画</p> <p>第9回 ネームの直し方 4コマ漫画</p> <p>第10回 ページ数指定で短編ネーム制作</p> <p>第12回 短編ネーム提出添削</p> <p>第13-15回 ネームの切り方応用① 原作を元にネームを制作 第12-15回長編ネーム添削（同時進行）</p> <p>第16-18回 ネームの切り方応用② キャラクター入れ替え 続編を考える</p> <p>第19回-第20回 長編ネーム制作</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD46		
授業科目名	マンガ演習		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	マンガ・キャラクターデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	週刊漫画雑誌で連載を経験した教員が、マンガ制作の基本の4コマ漫画を制作することでコマ割りの効果的な表現方法や制作技術を指導する。
到達目標	漫画を描く上で基本となるキャラクターの描き方、漫画特有の道具の使い方を学び、前期・中期をかけて作品を仕上げ、作品のクオリティを上げることを学習する。
授業計画	第1回/キャラクターデッサン 4コマ漫画ネーム作成 第2回/動きをつけたキャラクターデッサン 4コマ漫画ネーム作成 第3回/手足のパーツデッサン 4コマ漫画ネーム作成 第4回/アオリとフカンのデッサン 4コマ漫画ネーム作成 第5回/3種のパスについて 4コマ漫画ネーム作成 第6回/キャラクターのペン入れ 4コマ漫画ネーム作成 第7～12回/4コマ漫画ネーム作成 第13～20回/4コマ漫画のデジタル原稿作成
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD47		
授業科目名	パッケージデザイン		
授業時間数	24		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑貨・パッケージデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	タイトルにおけるイメージ効果と造形テクニックを把握しニーズにあった形の表現を研究する。リッチデザイン、フラットデザイン等の時代を作ってきたデザインテクニックを学び、時代のニーズに合わせたデザイン提案のありかたの重要性を学習する。
到達目標	現代のデザインニーズを研究しトータルとしてデザインツールの提案ができる判断力とテクニックを身につける。
授業計画	第1～2回 書籍タイトルデザイン 文字の大きさ書体のイメージ、トラッキング・カーニングの効果。
	第3～5回 装丁デザイン演習 ビジュアル、テクスチャの効果とタイトルの関係性の研究
	第6～8回 CDジャケットデザイン 文字の単位と適正な文字ブロックの作り方、 ミニマルデザインとフラットデザインの理解
	第9～12回 オリジナルショップツールデザイン エコロジーとパッケージデザインの関係
	第13～20回 オリジナルブランドの企画デザイン 企画書作成、デザイン制作、ディスプレイカット、プレゼンテーションまで一連の流れを学習する
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD48		
授業科目名	デザインプランニング		
授業時間数	96		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑貨・パッケージデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	前期は各パッケージの構造をタミー制作を通じて理解し、中期は、デザインを美しく見せる文字組みの基本や、論理的思考を磨く訓練を行う。また、実際の現場に近いプロセスでデザイン展開を身につける力を養うとともに卒業後、しなやかな感性を活かし過ごしていくための発想や、自立した社会人になるための考え方などを、デザインを通して育成する。
到達目標	1) 論理的思考を理解し、パッケージに反映したビジュアルデザインする能力を身につける。2) 実際の仕事の現場に近い過程を踏み、実社会での現場力を養う。3) 柔軟な発想の源となる生き方や、自立した社会人になるための考え方をデザインを通して身につけていく。
授業計画	<p>第1回 紙器の構造について1キャラメル式紙器とマテリアル 座学：紙器の展開図] キャラメル式展開と紙器の構造名称</p> <p>第2～3回 ピローケース、包装紙とジオメトリックパターン 座学：パターンのデザイン] メンフィスデザインとジオメトリックデザインについて</p> <p>第4～5回 洋品袋の構造 座学：洋品袋と菓袋の構造。洋品袋の展開</p> <p>第6～7回 カップデザイン 座学：カップの展開図とロゴの錯視調整</p> <p>第8～9回ふたしき紙器 座学：身と蓋の関係性と内寸、外寸、紙の厚さの関係性</p> <p>第10～12回 ショップツールの提案</p> <p>第10～12回 菓子店のBrandeing 包装紙 [座学：黄金比・白銀比] 美しい心地よいを数学的に考えるデザインの知識を修得する。</p> <p>第12-15回 菓子店のBrandeing 包装紙 単色印刷の基礎知識を理解し、包装紙のデザインのポイントを修得する。</p> <p>第16回 菓子店のBrandeing 印刷入稿データ 印刷入稿の注意点と一連の手順を修得する。</p> <p>第17-20回 菓子店のBrandeing ショッピングバッグ 包装紙と連動したショッピングバッグのデザインを修得する。</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD49		
授業科目名	デザイン書道		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑貨・パッケージデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	グラフィックデザイン分野でカリグラフィを専門分野として実績を積んだ教員が指導にあたる。パッケージデザインにおいてニーズの高いデザイン書道の基礎的な知識と技術を数多くの表現方法と実践課題を通して修得する。デジタル表現にない線の抑揚、自作の画材、広告やパッケージへの生かし方を実践的に習得し、デジタル時代に希少な表現の幅を広げます。
到達目標	1) 広告、デザイン分野においてのデザイン書道の役割と効果を理解を深める。2) 基礎的な技術、求められるイメージやコンセプトに合った表現方法等を学び、商品パッケージ、ラベル、CDケース、装丁、ポスターなど実践的にデザインに活用する技法修得する。
授業計画	第1回 デザイン書道の理論 定義 第2回 デザイン書道実技基礎 用途に応じた表現方法 <漢字・ひらがな> 第3回 デザイン書道実技基礎 用途に応じた表現方法 <カタカナ・英文> 第4回 デザイン書道実技 デザイン力強化<書の余白とトリミング> 第5回 デザイン書道実技 表現力強化<割箸で書くリードコピー> 第6回 デザイン書道実技 実践課題<商品ロゴ/和風ラベル> 第7回 デザイン書道実技 実践課題 第8回 デザイン書道実技 実践課題<商品ロゴ/洋風ラベル> 第9回 デザイン書道実技 実践課題<商品ロゴ/洋風パッケージ> 第10回 パッケージ制作<和・洋ラベル/和・洋パッケージ> 第11回 実技/表現力強化<テクスチャー制作><アート書の表現方法> 第12回 実技/表現力強化<アート書のロゴ>CDケース用・装丁用
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）、及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD50		
授業科目名	Webデザイン		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	広告デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社の制作部でWebデザインを担当した経験のある教員がその経験を生かしてPHPフレームワークのWordPressを使用し、ウェブサイトを実制作しながらSEO、ウェブデザイン、コーディング（HTML、CSS、PHP）を指導する。
到達目標	ウェブサイト運営にあたって企画からクライアントと一緒に組み立てた後、クライアントだけで情報発信するための重要なツールとしてCMSに特化したPHPフレームワークWordPressがある。実際にコンテンツを制作しWordPressでウェブサイトを運営することでフレームワークによるサイトの運営を学習する。
授業計画	第1回／Webサイト企画の基礎 第2回／SEOの取り組みの基礎 第3回／WordPressによるサイト運営 第4～5回／目的・ビジョンの決定 第6～7回／顧客ターゲットの設定 第8～9回／コンテンツの検討 第10～11回／ページ構成の検討 第12回／プロトタイプ作成 第13回／WordPress管理画面の使い方 第14回／WordPressプラグインの使用 第15回／PHPコーディングのカスタマイズ 第16回／検索エンジンの仕組み 第17回／検索エンジンに正しく判断させる 第18回／実制作からローンチ（公開） 第19回～第20回／検索結果の見直し
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD51		
授業科目名	コーディング演習		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	広告デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	Webデザイン制作会社でWebデザイナーとして勤務実績のある教員が指導にあたる。スマートフォンに特化したデザインを制御・構築するためのJavaScript（jQueryライブラリ）の理解を深める演習を行う。
到達目標	HTML上での動的な表現やアプリ出力など、HTML+CSSだけでは表現できないスクリプト（Code）を使った表現手法を実践できる能力を養う。 1） Javascript、jQueryなどを使ったインタラクティブなWeb表現の制作スキルを身につける。 2） HTMLを使ってAndroidアプリ、iPhoneアプリを出力するための知識を得る。
授業計画	第1回 コード（JavaScriptなどのスクリプト）によるweb表現について
	第2-4回 jQueryによる動的コンテンツの制作
	第5-7回 p5.js によるモーションエフェクト、装飾
	第8回 スマホでのインタラクション表現の演出について
	第9-12回 HTMLを使って PC・スマホでのモーショングラフィックの制作
	第13-20回 Monacaを使ってのアプリ出力、Onsen UIの制作
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD52		
授業科目名	広告演習		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	広告デザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	雑誌表紙デザイン、オリジナルロゴタイプデザイン、雑誌見開きデザイン、コラム、CDジャケットデザインなど印刷媒体のデザインを通じて実践的なレイアウト方法を学習する。
到達目標	レイアウト上の空間把握、文字の適正と効果、グリッドシステムの活用方法、写真と配色の関係、フィルタを使用した効果の使用法の習得を目標とする。
授業計画	第1回 雑誌タイトルデザイン 第2回 雑誌表紙デザイン演習 第3回 雑誌表紙デザイン演習 第4回 CDジャケットデザイン1 第5回 CDジャケットデザイ2 第6回 CDジャケットデザイ3 第7回 雑誌見開きデザイン1 第8回 雑誌見開きデザイン2 第9回 コラムデザイン1 第10回 コラムデザイン2 第11～12回 ポスターデザイン
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	



科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD53		
授業科目名	オリジナルイラスト		
授業時間数	120		
必修・選択の別	選択		
対象コース	イラストレーション		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	-		

シラバス

授業内容	様々なモチーフでイラストを描くことで技術やテイスト（作風）の幅を広げていく、また仕事として想定されるイラストマップ、キャラクターデザイン、立体物にプリントされる場合などで実習する。
到達目標	クライアントから依頼される様々なケースのイラスト表現に対応できるよう、オムニバス形式にて様々なイラストレーターから表現技法を学ぶ。
授業計画	第1回 画材や作家の紹介、イラストの歴史、アンケート、DVD（50分） 第2-3回 作家研究（資料作成） 第4回 作家研究（模写）・コンペ準備 第5回 作家研究（講評）・コンペラフ 第6回 コンペ（ラフチェック） 第7-9回 コンペ（作画） 第10-12回 コンペ（作画）・グループ展（テーマ絞り込み／DM準備） 第13回 コンペ（作画）・グループ展準備 第14回 グループ展ラフ 第15-17回 グループ展（作画） 第18回 グループ展（講評）（搬入） 第19回-第20回 グループ展（搬出）
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD54		
授業科目名	テクニカルイラスト		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	イラストレーション		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	出版業界、印刷業界でイラストレーターとして実績を積んできた教員が指導する。絵を描く上で大切な資料収集や作品のモチーフについての研究することでイラストレーションがどのように社会に関わりを持ち貢献していくのか考察し、作品制作についてはコンペで発表し、鑑賞、批評することでオリジナリティを高めていくことを学習する。
到達目標	イラストレーションに必要な技術を身につける。新聞・雑誌広告、各種メディアへの応用・展開を意識したオリジナル表現を目指す。コンペティションに応募することで自らの力量を考察し、新たな視覚表現にも積極的にチャレンジする。グループ展ではテーマコンセプトを元にアイデアを独自に発展させ、創作する力を身につける。
授業計画	<p>第1-4回 イラストマップ インクや透明水彩をつかったイラストマップ</p> <p>第5-8回 イラストを使った雑誌の表紙 アクリル絵の具の空間イラスト</p> <p>第9回 キャラクターデザイン 2頭身3頭身</p> <p>第10-11回 キャラクターデザイン キャラクターを使った本屋の紹介</p> <p>第12回 マグカップ 自分のイラストが立体的になったらどうなるか学ぶ</p> <p>第13-14回 マグカップ イラスト作成</p> <p>第15回 マグカップ データ入稿</p> <p>第16-20回 デザイン書道 デザイン的な書道を学び、自分の作品に生かす</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD55		
授業科目名	編集企画		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑誌編集（エディター）		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	出版社で編集長として勤務した教員がその経験を生かして雑誌紙面の企画を作るにあたって文章の表現力をまず身に付け、魅力ある紙面づくりはどのように企画されるのか指導する。
到達目標	編集の知識や表現方法、企画立案の方法を学ぶと共に、実際の取材や誌面作りができるようにする。
授業計画	<p>第1回 概論・文章表現の基礎</p> <p>第2回 文章の書き分けと表現方法</p> <p>第3回 企画の立て方</p> <p>第4回 企画書の書き方</p> <p>第5回 POP作りは編集力</p> <p>第6回 取材のし方・インタビューのコツ</p> <p>第7回 インタビュー原稿の書き方</p> <p>第8回 校正の基本とチラシ作り</p> <p>第9回 チラシ作り</p> <p>第10回 実践取材と紙面づくり</p> <p>第11回 実践取材と紙面づくり</p> <p>第12回 紙面プレゼンテーションと合評、総まとめ</p> <p>第13～14回 取材と編集（企画立案）</p> <p>第15～17回 取材と編集（クライアントへの取材と記事書き起こし実践）</p> <p>第18～19回 取材と編集（紙面と校正）</p> <p>第20回 取材と編集（入稿準備）</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD56		
授業科目名	写真演習		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑誌編集（エディター）		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	広告業界で広告写真に携わった経験を持つ教員がその経験を生かして広告媒体における写真撮影方法と関連する機材の操作及び設定法の基本を指導し、広告業界におけるフォトグラファーの撮影技術を理解する。
到達目標	前期は写真技術の向上、中期に写真イメージ向上を中心に、広告写真の現場に必要な知識と技術を習得する。
授業計画	<p>第1回 写真・露出・レンズ画角の基礎知識・カメラと三脚の取扱い</p> <p>第2回 ラチチュードの理解（レフ効果）・入射光式露出計の使い方</p> <p>第3回 自然光によるポートレイトのコントラストコントロール</p> <p>第4回 2灯ライティングの基礎画角によるパースペクティブの違い・自然光での平面複写</p> <p>第5回 被写界深度のコントロール</p> <p>第6回 内観、外観シャッタースピードのコントロール</p> <p>第7回 筆記と実践テスト（ぼかす・プラス・ひずませる）</p> <p>第8回 内外観・風景や街中をパースで捉える</p> <p>第9回 ストロボ1灯によるライティングの基礎</p> <p>第10回 人物ライティング（キリヌキとカクハン）</p> <p>第11回 ライティングの応用（カゲナシ・カゲイキ）</p> <p>第12回 テスト（自然光とライティングを使いこなす）</p> <p>第13回 テスト（自然光とライティングを使いこなす）</p> <p>第14回 広告撮影課題（撮影ラフ作成）</p> <p>第15回 広告撮影課題（撮影実践）</p> <p>第16回 一眼レフによる動画撮影の基礎・筆記試験</p> <p>第17回 一眼レフによる15秒CM制作（絵コンテ）</p> <p>第18回 一眼レフによる15秒CM制作（撮影・オフライン）</p> <p>第19回 一眼レフによる15秒CM制作（編集・グレーディング）</p> <p>第20回 写真作品撮影（ロケ）</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（60%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（40%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	グラフィックデザイン科		
科目コード	2022GD57		
授業科目名	エディトリアルデザイン		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	雑誌編集（エディター）		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当する		

シラバス

授業内容	雑誌表紙デザイン、オリジナルロゴタイプデザイン、雑誌見開きデザイン、コラム、CDジャケットデザインなど印刷媒体のデザインを通じて実践的なレイアウト方法を学習する。その後、高校生を対象とした印刷物を企画立案、取材、印刷入稿までを実施し履修した学びの確認を行う。
到達目標	広告や雑誌制作で必要とされるグラフィックデザインの表現テクニックを演習を通じて学習する。また、中期は編集企画、広告写真と連携し実際に印刷物を制作。企画立案、取材、撮影、デザインを実際の編集工程に順じて行うことで雑誌編集の流れを把握する。
授業計画	第1回 文字の大きさ書体のイメージ、トラッキング・カーニングの効果 第2～3回 雑誌表紙デザイン演習（ビジュアルとタイトルの関係性の研究） 第4～7回 メッセージポスター制作（発想と定着） 第8～11回 CDジャケットデザイン（表現方法研究） 第12回 CDジャケットデザイン（帯のデザイン） 第13回 印刷物の編集（企画立案） 第14回 印刷物の編集（先割のデザイン） 第15～19回 印刷物の編集（編集デザイン） 第20回 印刷物の編集（データ作成と入稿）    
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各課題における作品評価点（60%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（40%）により評価する。
備考	